実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
宇都宮市	豊郷地区	令和3年3月29日	令和5年3月17日

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積		716 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計		518 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計		276 ha
	ⅰ　うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	200 ha
	ⅱ　うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	61 ha
④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計		115 ha
（備考）		

2　対象地区の課題

現在は，中心経営体等により地区内の農地が維持できているが，中心経営体の高齢化が進み，今後の担い手不足が課題となっているため，新たな農地の受け手を確保しつつ，営農維持の支援や集積・集約化を図る必要がある。

3　対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

＜地区全体＞
中心経営体や農地の守り手・支え手のうち規模拡大意向のある農業者に集積を進めるとともに，多面的機能支払交付金の組織を活用し共同活動に取り組みながら，地域の農地全体における営農継続を図る。

＜海道町＞
基盤整備事業の実施を契機に集落営農法人を立ち上げ，法人の構成員が土地利用型の農地の管理に取り組みながら，町内の農地を法人に集積・集約していく。
また，園芸作物の導入を進めるため，いちご団地を整備し，新たな担い手の受入れを促進していく。

＜川俣町＞
地域内で設立された集落営農組織に農地の集積・集約化を図っていく。

中心経営体

属性	農業者（氏名・名称）	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
認農	[redacted]	花卉	0.4 ha	花卉	0.4 ha	
認農		水稲，麦	18.2 ha	水稲，麦	20.0 ha	
認農		水稲，麦	12.8 ha	水稲，麦	13.7 ha	
認農		水稲	15.0 ha	水稲	15.0 ha	
認農		水稲，野菜	8.4 ha	水稲，野菜	10.5 ha	
認農法		ハーブ等	0.2 ha	ハーブ等	0.5 ha	他地区あり
認農		水稲	5.0 ha	水稲	5.0 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	
認農		水稲	13.0 ha	水稲	13.0 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	
認農		梨，水稲	2.9 ha	梨，水稲	2.9 ha	
認農		水稲，野菜	2.5 ha	水稲，野菜	5.0 ha	
集		水稲，麦	0.9 ha	水稲，麦	0.9 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	
認農		水稲，花木	4.5 ha	水稲，花木	5.5 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	
認農		水稲，玉ねぎ	2.9 ha	水稲	5.0 ha	他地区あり
認農法		―	―	水稲，麦，そば	30.0 ha	
集		水稲	1.2 ha	水稲	1.2 ha	
集		水稲	5.5 ha	水稲	10.0 ha	
認農		水稲，花卉	6.5 ha	水稲，花卉	7.5 ha	
認農		水稲，麦，苺	5.1 ha	水稲，麦，苺	6.6 ha	
認農		水稲，麦，野菜	5.2 ha	水稲，麦，野菜	20.0 ha	
認農		水稲，そば	10.6 ha	水稲，そば	12.0 ha	
認農		水稲，麦，ねぎ	17.3 ha	水稲，麦，ねぎ	18.3 ha	
認農		水稲，麦	7.0 ha	水稲，麦	9.0 ha	
認農		水稲，麦，そば	5.7 ha	水稲，麦，そば等	10.0 ha	他地区あり
認農		水稲，トマト	1.7 ha	水稲，トマト	1.8 ha	
認農		水稲，麦	11.0 ha	水稲，麦	11.0 ha	
認農		水稲，麦，野菜	8.6 ha	水稲，麦，野菜	20.9 ha	
認農		水稲，麦	7.0 ha	水稲，麦	7.0 ha	
認農		水稲，野菜	6.6 ha	水稲，野菜	7.6 ha	
認農		野菜	1.0 ha	野菜	1.5 ha	
認就		アスパラガス	0.2 ha	アスパラガス	0.2 ha	
認農		水稲，麦	11.0 ha	水稲，麦	18.0 ha	
認農		水稲，麦，ねぎ	6.0 ha	水稲，麦，ねぎ	6.0 ha	
認就		苺	0.2 ha	苺	0.4 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	
認就		―	―	苺	0.1 ha	
認農		水稲，ねぎ	9.7 ha	水稲，ねぎ	9.7 ha	
認就		―	―	苺	0.2 ha	

認農	[redacted]	苺	0.2 ha	苺	0.2 ha	
認就		苺	0.2 ha	苺	0.3 ha	
認農		水稲，麦	4.3 ha	水稲，麦	4.3 ha	
認農		水稲，麦，大豆	5.0 ha	水稲，麦，大豆	7.0 ha	他地区あり
認農		麦	1.2 ha	麦，水稲	12.0 ha	他地区あり
認農		水稲，麦，果樹	10.0 ha	水稲，麦，果樹	15.0 ha	
計	47 人		234.7 ha		346.3 ha	

農地の守り手・支え手

属性	農業者（氏名・名称）	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
	[redacted]	クローバー	0.4 ha	クローバー	0.4 ha	
		水稲	2.4 ha	水稲	2.4 ha	
集		水稲，麦	5.0 ha	水稲，麦	5.0 ha	その他稲刈り40ha
		水稲，ソルガム	1.5 ha	水稲，ソルガム	1.5 ha	
		水稲	3.5 ha	水稲	3.5 ha	
		水稲，麦	1.7 ha	水稲，麦	1.9 ha	
		野菜	1.3 ha	野菜	2.0 ha	
		水稲	2.0 ha	水稲	2.0 ha	
		水稲，ｺｽﾓｽ，ﾊｽ	1.3 ha	水稲，ｺｽﾓｽ，ﾊｽ	1.3 ha	
認農		水稲	6.0 ha	水稲	6.0 ha	
		水稲	3.3 ha	水稲	5.0 ha	
		水稲	4.0 ha	水稲	5.0 ha	
集		―	―	―	―	稲刈り 22ha 薬剤散布 80ha
認農		水稲，ねぎ	8.9 ha	水稲，ねぎ	8.9 ha	
計	14 人		41.3 ha		44.9 ha	

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

中間管理機構の活用方針

　将来の経営農地の集積・集約化を目指し，農地所有者は，積極的に農地を機構に貸し付け，機構を通じて，近所の中心経営体への貸付けを進めていく。

基盤整備への取組方針

　ほ場整備が完了している地域については，農作業の効率化を図るため，農地耕作条件改善事業などを活用しながら，農地の大区画化に取り組む。

　ほ場整備が未実施の地域については，ほ場整備の導入について検討していく。

高収益性作物の導入方針

　米，麦等の土地利用型作物以外に，収益性の高い施設園芸作物の生産に取り組む。

災害対策への取組方針

　水害防止のため，田んぼダムの導入について関係機関と連携して取り組む。

鳥獣被害防止対策の取組方針

　地域による鳥獣対策として，目撃・被害の発生状況を把握しながら，侵入防止柵や檻の設置等，被害防止対策の構築等に取り組む。